

メンテナンス マニュアル

衛生的に長くお使い頂く為に、日頃の定期的な清掃をお願い致します。

1.主電源をお切りください(画像①)

メンテナンスを行う前は、必ず主電源を切り、安全を確認した上で行ってください。



2.固く絞った雑巾で、外側の汚れを落としてください(画像②)

油污れなどは、食器用の中性洗剤などを薄めて、汚れを取り除いてください。たわし、スポンジなどであまり強くこすると傷が付く恐れがありますので、その場合は軽く拭いてください。

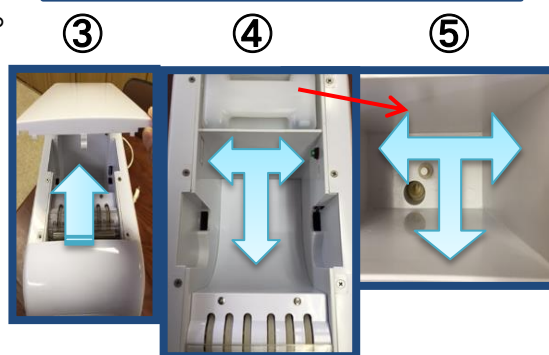
その際、機械内部に水が入らない様にご注意ください。




3.天板を開け(画像③)ロール紙、水タンク

装着場所(画像④⑤)の汚れを落として下さい。

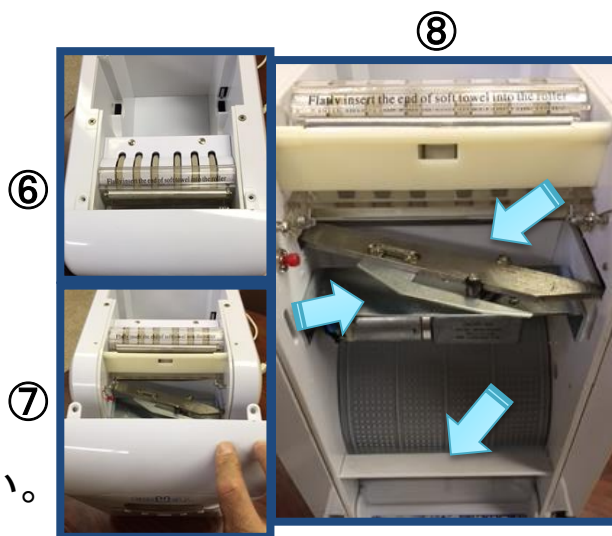
ロール紙設置場所の底辺に溜まったゴミやタンク内の水垢汚れ等の汚れを落としてください。



4.フロントパネルを開け(画像⑥⑦)、カッターやその周辺に付いているロール紙の切りくずを取り除いてください。(画像⑧)

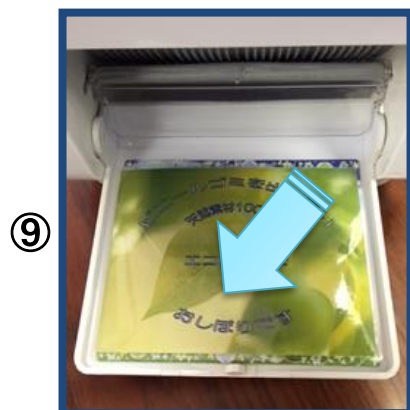
ロール紙の切りくずがカッター周辺、おしぼり取り出し口上部にあるおしぼり巻き込み防止バー(下部  部)に溜まり易い為、定期的におしぼり乾いた布などで切りくずを取り除いてください。

その際、カッターを触る時には、十分ご注意ください。



5.おしぼり受け皿の汚れを落としてください(画像⑨)

おしぼり受け皿は、清潔なおしぼりが、出てくる場所ですので、特に汚れ等にはご注意ください。



メンテナンス マニュアル

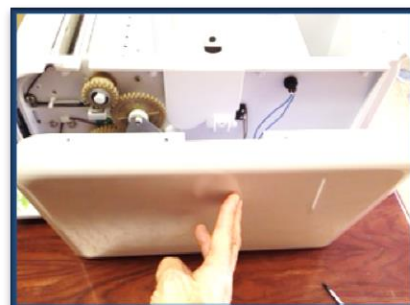
衛生的に長くお使い頂く為に、日頃の定期的な清掃をお願い致します。

6. 機械内部のメンテナンスについて

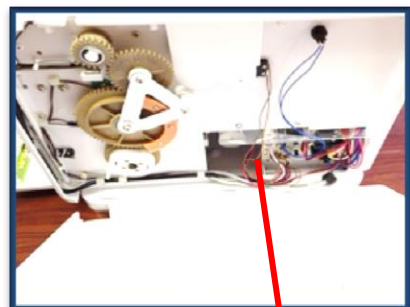
上部にあるネジを全て取り外す事で(画像①)パネルの脱着が可能になります。この画像(画像②)は正面より右側のパネルを外す状態です。外し終わると上から3番目の画像(画像③)の状況です。画面左側のギア部分のゴミが溜まっていないかを確認、溜まっている場合は、手もしくは乾いた布でお拭き取り下さい。



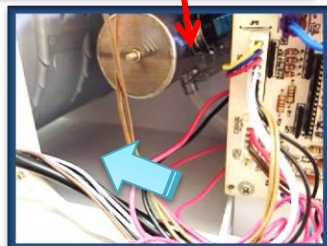
①



②



③



④

7. 機械最下部の確認について

側面より右側部分にメイン基盤があります。その左横奥に見える(画像④)丸いタンク状のものが、ヒートタンクです。その下の部分(←部)にロールの切端やゴミなどが落ちていないかを確認、ゴミなどがある場合取り除いて下さい。暖かいオシボリの設定の場合、ヒートタンクが熱を持っていますので、タンクの熱が下がっている事を確認してから着手して下さい。左側内部(画像⑤)に関しては側面だけのメンテナンスになりますので、汚れ、ゴミ等は乾いた布で拭き取って下さい。また、取り外したパネル(画像⑥)に関しても、同様に汚れ等を拭き取って下さい。



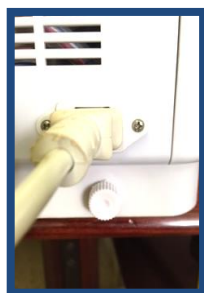
⑤



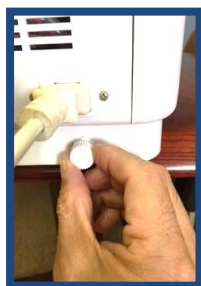
⑥

8. 移動、運搬の際について

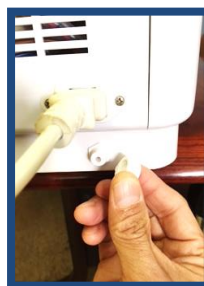
移動、もしくは運搬する場合は、必ず、機械内の水を抜いて下さい。水抜きコルクは機械後部の右下(画像⑦~⑨)に装着されています。コルクの蓋を緩める(開く)と同時に中の水が出て来ますので必ず、水受けの容器(水タンク等)を使用して水抜きを行って下さい。(画像⑩)



⑦



⑧



⑨



⑩

メンテナンスマニュアル②

1. 余剰水分の排水

120A型機の排水

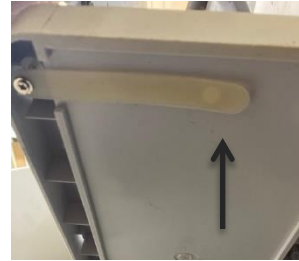
おしぼりに噴霧されます水分の余剰分がドラム部品に残り、機体内部へ垂れ落ちることがあります。
又、長期間お使い頂く際は、機体に落ちた水分が溜まり溢れることがあります。



機体正面 底部

溜まった余剰水分を定期的に排水頂くことで、溢れかえることを事前に防止することができます。

余剰水分が機体内部に垂れ落ちることは機能上避けられませんので、少しでも減らすことを希望される場合は、水分量を低い値で設定してください。



機体底部のシリコンのゴム栓を外し、排水してください。

※機体の前面側から水漏れを発見された場合は、本マニュアル通り、排水処理を行って下さい。

※故障による水漏れではありません。

※但し、排水後にすぐ水漏れが再発する場合、機体後部からの水漏れが起きる場合は、部品が外れている、または破損している可能性がありますので、メーカーもしくは購入頂いた販売店様へお問い合わせください。

120B型 小型機の排水



機体正面 下部の排水皿を引き出し、排水してください。

メンテナンスマニュアル②

2. 寒冷地での使用について

おしぼり機本体のスペック上の設置場所温度は「摂氏0℃～42℃」となっております。

0℃を下回る場所へ設置されますと、ウォータータンク内の水が凍り、タンクやポンプの破損を引き起こし、水漏れ等 機器故障の原因となります。

つきましては、寒冷地等、

「設置場所温度が0℃を下回る場所」に設置されている場合の

機器の取り扱いについては、下記の通り厳守頂けます様 何卒宜しくお願い致します。

凍結防止方法

1、おしぼり機のスイッチを切らず、且つ「温」のスイッチをオンの状態にする。

2、しばらく使用せず電源を落とされる場合は、使用後に、都度水抜きを行う。

(タンク内に水が残らない様、全て排水すること)

※次の3の通り、排水を行って下さい。

3. 移動時、長期末使用時の排水について

おしぼり機本体を移動させる、または修理等で発送する場合必ず、背面排水口より水タンク内の水を抜ききってから移動させるようにお願いします。

※輸送時の水漏れにより、他の荷物が濡れ損傷させる可能性があります。

水が残ったままの移動、輸送は必ずおやめください。



水タンクを抜き出し、中に残った水を全て流し、空の状態にして下さい。



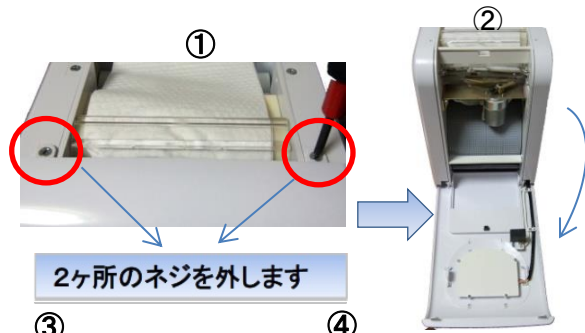
機体背面の排水口のねじを外し、機体内部の水を全て流して下さい。

紙詰まり対処方法①

E5 ☆カッター部分での紙詰まりもしくはドラム奥部での紙詰まり

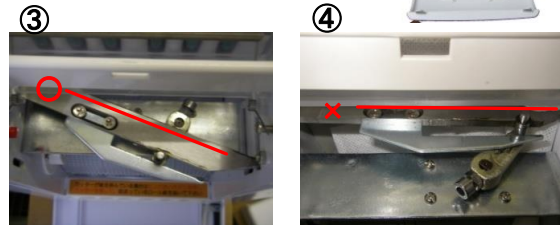
必ず電源を落としてから作業してください。

電源を落とした後、天盤を開け機械前面部分の2か所のネジを外し、手前に機械前面部分のカバーを開けます。(図①②)



2ヶ所のネジを外します

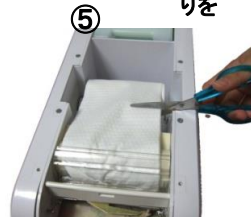
カッター部分での紙詰まりを起こしている場合、通常図③の様に斜めに位置しているカッターが図④の様に機械面に対してまっすぐな状態であり、その奥にてロール紙の詰まりがあります。まずはそのカッターを図③の正しい位置に戻す必要があります。



正しいカッター位置

カッター部分での紙詰まりを

まずは図⑤のようにハサミで詰まっているロールを残りロールから切り離してください。



ロールの切り離しが完了したら、再度電源を入れて下さい。

次に図⑥にある、機械内部向かって左側面の赤いボタンを押すとカッター部分が正しいカッター位置まで動きますので、カッターが動かなくなるまでこのボタンを押して下さい(図④の状態から図③の状態になります)



正常なカッター位置まで戻った段階で、再度電源を切って下さい

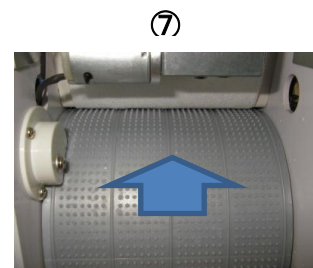
詰まっていたロール紙を前面から抜き取ります。
(抜き取る際にはカッターの刃にくれぐれもお気を付け下さい)
※機械上部からはロール紙を抜かないで下さい、故障の原因になります

除去完了後、前面カバーを閉め、外したネジを締め、通常稼働の状態に戻し電源を入れて下さい。

電源を入れて頂き、操作パネルが「E5」ではなく、通常の「01」「02」等の表示になれば使用可能です。

以上の作業を行い、紙詰まりを解消したがエラー表示が解除されない、もしくは「E5」の表示は出たが、カッター部分には詰まりが無く紙詰まりが視認できない、といった場合はドラム奥での紙詰まりの可能性があります。

電源を切り、ロール紙を外した上で、ドラムを図⑦の矢印方向に回してください(異物が詰まっている為若干重く感じます)、奥にて詰まっていたロール紙が前面に排出されます。



紙詰まりが無くなりドラムの回転が軽くなりましたら、前面カバーを閉め、外していたネジを締めて下さい。
ドラム奥での詰まりの場合、エラー表示を解除するには操作パネル「+」ボタンを押しながら、電源を入れて下さい。

ドラムが重くて動かない等、以上の対処でも復旧しない場合は、メーカーへ問い合わせ下さい。

紙詰まり対処方法②

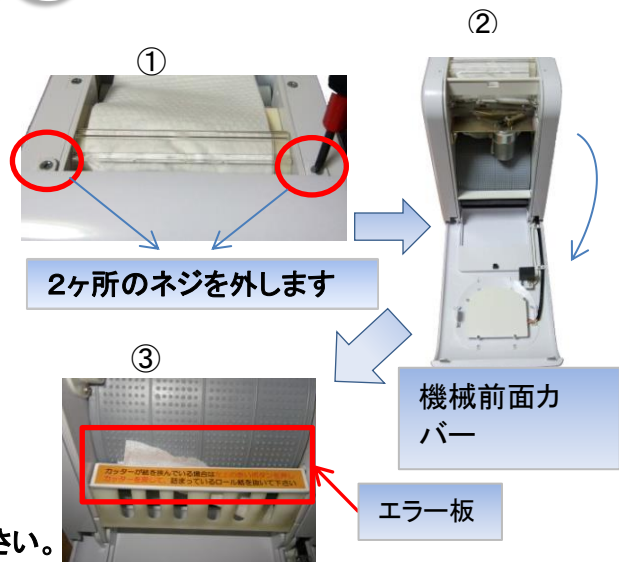
E4 ☆機械前面ドラム部分での紙詰まり
(図③にあるエラー板に指などの異物が接触
もしくはおしぼりが詰まった可能性があります)

必ず電源を落としてから作業してください。

電源を落とした後、天盤を開け機械前面部分の2ヶ所のネジを外し、手前に機械前面部分のカバーを開けます。(図①②)

図③の様におしぼりが詰まっている場合、それを除去します。

除去完了後、前面カバーを閉め、外したネジを締め、通常稼働の状態に戻し電源を入れて下さい。



注) おしぼりの詰まり以外にも取り出し口から奥へ指を入れエラー板を押し上げることによって「E4」エラーが表示されます。全面カバーを開けて確認しても何も無い場合はそのことにより生じた警告である可能性があります。

注) パネル上の「E4」表示と警告音は一旦電源を落とすことにより解除できます。

故障、紙詰まりの原因になる例

故障の原因

タンク給水時、機械内部に水をこぼしてしまう



紙詰まり原因

ロール交換時、ロール端がきれいに本体にセッ出来ていない。また、ななめに入れている。



ロール紙が、重なっていたり、ななめになっていると紙詰まりの原因になります。

給水後の水タンク配備について

しっかりと持つ



最後まで放さず

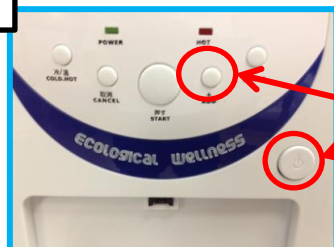


最後まで放さずにしっかりと配備して下さい。

カセットした瞬間に手を放すと直接落下！機械内部の部品破壊につながります。

E-5 エラー表示の解除方法

詰まりを除去した後にE5が消えない場合



- 1.一度電源を切ります。
- 2.上部右から2つ目のボタンを押しながら、電源ボタンを立ち上げて下さい。
- 3.E-5表示から枚数表示に戻ります。